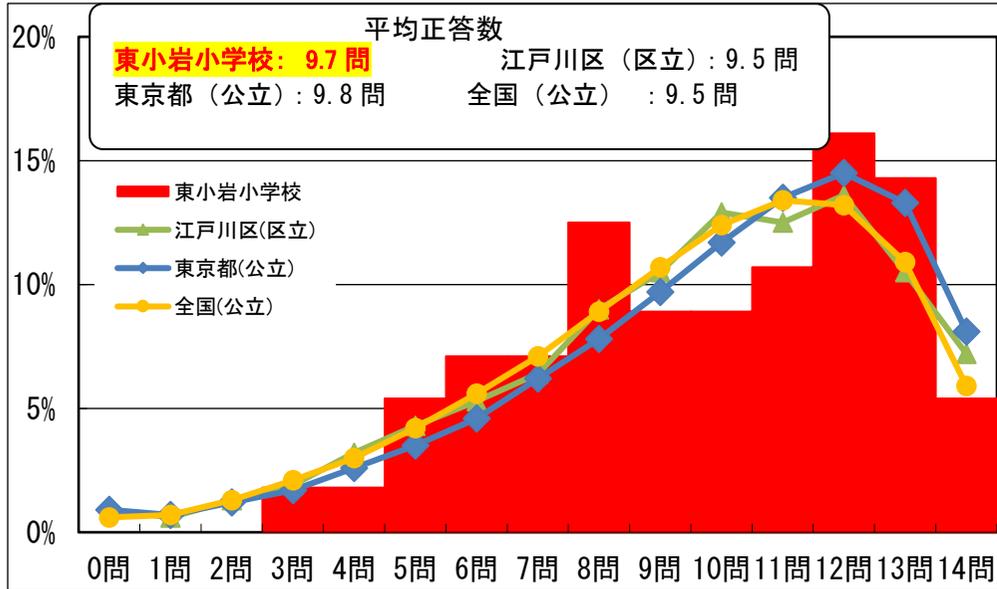


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 東小岩小学校

正答数分布



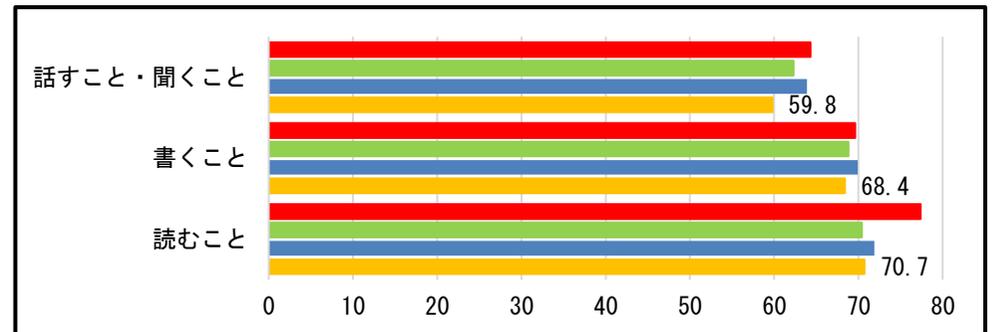
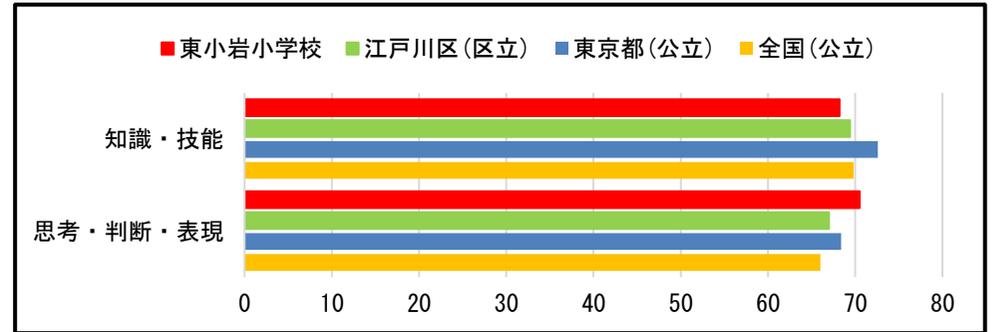
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
東小岩小学校	35.8	19.6	21.4	23.2
江戸川区 (区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都 (公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国 (公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

東小岩小学校	70%
江戸川区 (区立)	68%
東京都 (公立)	70%
全国 (公立)	67.7%
都との差	0ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・ 平均正答率は、全国を2.3ポイント上回り、都とは同値であった。
- ・ 全員が3問以上は正答することができていた。
- ・ 知識・技能の領域の設問において、都より4ポイント以上下回っていた。
- ・ 「読むこと」の領域の設問において、都より5ポイントと大きく上回っていた。
- ・ 漢字や主語述語の関係などの知識の修得を繰り返し行い、定着を図る。
- ・ 日常的にスピーチ活動を行い、目的や意図に応じて伝える内容を検討する力を高めていく。